

あこがれのたより



5月 

発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】

『^{かん}精悍 執念 鍛練』

こんにちは。いよいよ高総体が間近となりましたが、新型コロナウイルスの影響で原則無観客での開催になるなど、生徒諸君は少なからずストレスを感じながら、毎日練習に励んでいるものと察します。この微妙に晴れない気持ちを奮い立たせ、心が凜とする話題はないものか。

ふと、私の頭に浮かんだのが、「小さな大横綱」として国民的人気を博した元横綱千代の富士。私は、その技の美しさと圧倒的な強さに憧れを抱いた世代の一人です。この横綱ほど、『精悍・執念・鍛練』という言葉が似合う人はいないのでと、つくづく思います。当時、その取組を見ては魂を揺さぶられていた自分を思い出します。

小兵ながら筋肉質の体。汗を滴らせた顔は精悍そのもの。「ウルフ」の愛称で人気を集め、31回の優勝を支えたのは勝利への執念。苦手としていた元大関琴風とのエピソードが、私には特に印象に残っています。千代の富士は琴風の部屋へ、30番40番負けても負けても稽古に出向き、何日もそれを続けたといいます。琴風は、それから11連敗。勝てなくなったと語っています。

一方、千代の富士は、肩の脱臼等、度重なる怪我に苦しみました。大変身させたのが筋力トレーニング。腕立て伏せや厳しい鍛練で、肩の周りを筋肉の鎧で固め、鋭く踏み込んで左前まわしを引き、一気に勝負に出る自分の型を作り上げて、横綱への道を切り開きました。

千代の富士の弟弟子で元横綱北勝海の八角理事長は、次のように話しています。「弱音を吐かず、何事に対しても絶対勝つんだという精神力がとてつもない人だった。勝負に勝っても、また次の勝負に勝つんだという貪欲さを見習うところがたくさんあった。幕下の頃から毎日稽古をつけてもらって、力を抜いてくれなかった。それがありがたかった。私も弱音を吐かずに毎日ぶつかった。」

千代の富士の師匠で元横綱北の富士勝昭氏は、「素晴らしい弟子に恵まれた。豪快だけど繊細。口は悪いけど腹はそれほどでもない。涙もろくてね。」、管義偉首相は、「国民から親しまれ、体格は小柄だったが圧倒的な相撲を取っていた。横綱の中の横綱だった。」と述べています。

逆境にも弱音を吐かず、度重なる肩の脱臼を乗り越え、負けん気の強さと並外れた闘争心が土俵人生を支えていたのだと思います。今の時代、『精悍・執念・鍛練』という言葉が鳴りを潜めているように思います。言葉でなく全身で語ってくれた勝負師の精神を、この時代だからこそ胸に携え、子どもたちと向き合っていきたいものです。

生徒諸君には、この苦境を乗り越え、心意気確かに、威風堂々と高総体を戦ってきてほしいと思います。

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

5月11日(火)から5月15日(土)までの1週間は、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」でした。初日には、人権教育として、拉致問題を取り扱った「めぐみ」の視聴を行いました。人権とは何かを深く考える機会になったのではないかと思います。

また、いじめ根絶に取り組むため、「こっち来て みんなで聴くよ 君の声」などの「いじめ根絶標語」を生徒会で考え、校内でポスターとして掲示しました。1学年では、「ネットに掲載して良い写真はどれか」を考えるなどの、情報モラル授業も実施しました。これらを、この1週間だけの取り組みとせず、年間を通して心を見つめる機会を随時設けていきたいと思っています。

「ふるさと散策」

4月23日(金)、2年ぶりに「ふるさと散策」が行われました。この行事はクラスごとに4～6名で班を編成し、体力・精神力、そして仲間と助け合う協調性を養うとともに、新入生の歓迎や住み慣れたふるさとを再発見することを目的として行われています。

今年は鬼岳芝生広場を目的地に、往復約13kmの距離を歩きました。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な対策をとりながらの実施となりましたが、生徒達は、ふるさとの自然に触れながら、みんな元気に歩きました。また、鬼岳芝生広場に到着した後は、生徒会執行部によるジェスチャーゲームや新転任の先生方によるクイズも行われ、生徒達は楽しんでいました。

天候にも恵まれ、班員で助け合い、励まし合いながらゴールすることができ、達成感を得られた一日となったようです。これからも、五高生全員で協力して学校行事を成功させてほしいと思います。



「人権教育」

5月11日（火）に人権教育が実施されました。今回の人権教育では、コロナウイルス感染症予防のため、各クラス教室内でアニメ「めぐみ」を視聴しました。

北朝鮮による拉致という非人道的な行為によって、横田めぐみさんの自由が奪われてしまったこと、めぐみさんを取り戻すために日本政府、家族ともに活動していることを学ぶことができました。これからの社会を担う生徒たちが、今後このような負の連鎖を生まないために、人権についてしっかりと考えていく良い機会となりました。



「令和3年度 高総体の各試合会場と初戦」

（個人は長崎県高等学校体育連盟HPを御覧ください）

長崎地区

- ・バスケットボール
（男子：長崎北陽台高等学校体育館 女子：純心女子高等学校体育館）
男子（対 川棚） 女子（対 壱岐商業）

中地区

- ・陸上競技（トランスコスモスタジアム長崎）
- ・柔道（諫早市中央体育館）
男子団体（対 諫早農業） 女子団体（対 佐世保工業）
- ・剣道（諫早市小野体育館）
男子（予選リーグ 佐世保南・諫早農業） 女子（対 島原）
- ・卓球（大村体育文化センター）
女子団体（対 佐世保南）
- ・バレーボール（男子：島原工業高等学校体育館 女子：島原農業高等学校体育館）
男子（対 対馬） 女子（対 国見）

佐世保地区

- ・ソフトテニス（佐世保市総合グラウンドテニスコート）
男子団体（対 壱岐商業と北松農業の勝者） 女子団体（対 壱岐商業）
- ・バドミントン（男子：佐世保北高等学校体育館 女子：佐世保東翔高等学校体育館）
男子団体（対 佐世保北） 女子（対 向陽）
- ・サッカー（佐世保実業高等学校グラウンド）
（対 佐世保東翔）

運動部の皆さん、頑張ってください！